

竹 中 治 堅 教 授

役 職：政策研究センター所長補佐

専門分野：比較政治、国際政治経済

学 位：Ph.D.（政治学）（スタンフォード大学）

略 歴：1993年東京大学法学部卒、大蔵省入省、1998年スタンフォード大学政治学部博士課程修了（Ph.D.取得）、同年中央省庁等改革推進本部事務局、1999年本学助教授、2004年本学政策情報研究センター長、図書館長（2006年まで）、2007年本学准教授。2010年本学教授。

1. 業 績（A）

（1） 図 書 単 著

- * Harukata Takenaka, *Failed Democratization in Prewar Japan: Breakdown of a Hybrid Regime*, Stanford University Press, August 2014, 256pp.
編・共著等
- * 竹中治堅インタビュー・構成 藤村修『民主党を見つめ直す』毎日新聞社、2014年11月、404頁（竹中治堅「解説 民主党『保守派』内閣の源流」335-373頁執筆）。
- * 竹中治堅編 有馬龍夫『対欧米外交の追憶 1962-1997』上下、藤原書店、751頁（竹中治堅「編者解説」679-710頁執筆）。

（2） 雑誌論文（単 著）

- * 竹中治堅「解説 民主党『保守派』内閣の源流」335-373頁、竹中治堅インタビュー・構成 藤村修『民主党を見つめ直す』毎日新聞社、2014年11月。
- * 竹中治堅「解散の背景を読み解く」nippon.com（ニッポンドットコム）. 2014年11月26日 <http://www.nippon.com/ja/currents/d00149/>
- * 竹中治堅「衆院選：自民大勝は「消極的支持」の結果」nippon.com（ニッポンドットコム）. 2014年12月8日 <http://www.nippon.com/ja/currents/d00158/>
- * 竹中治堅「公論 2015 国会を動かしているのは誰か 「一強多弱」でも阻まれる首相の権限」『中央公論』2015年3月号、2015年2月、126-138.
- * 竹中治堅「編者解説」679-710頁、竹中治堅編 有馬龍夫『対欧米外交の追憶 1962-1997』上下、藤原書店、751頁。

（3） 学会発表

- * Harukata Takenaka, "Political Leadership in Japan: Long way toward a Westminster Model" Japan Colloquium Series, Shorenstein Asia Pacific Research Center, Stanford University, 2015年2月3日。スタンフォード大学、カリフォルニア州、アメリカ合衆国。

2. 助成金等による研究

- * 科学研究費補助金（基盤研究C）「首相の指導力に対する国会議事日程決定権限や首相の補佐体制の影響に関する実証的研究」（代表者）
- * 科学研究費補助金（基盤研究B）「戦後日本の統治構造改革史に対する総合的研究」（分担者）
- * サントリー文化財団「人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成」「政権交

代が政策の継続性に及ぼす影響に関する研究」(代表)

- * 電気通信普及事業財団「インターネットなど発達した電気通信技術が日本政治に及ぼす影響」

3. 教育

(1) 講義

- * 政治学の分析手法(2014年度春大学期)
特に政治制度が政治過程に及ぼす影響に関する様々な理論を重視しながら、2000年代以降の二度にわたる政権交代による政治過程の変化も踏まえ、現代日本政治をいかに分析できるかについて議論した。
- * Comparative Politics(2014年度秋大学期)
比較政治についての様々な理論を紹介し、民主主義のもとでの政治過程をどのように分析できるかについて議論した。
- * 日本政治特別演習(2014年度秋大学期)
日本政治を分析するためのさまざまな理論や実証研究を紹介し、議論した。

(2) 論文指導

- * Young Leaders Program: 修士課程3名(主指導3名、うち1名修士取得)
- * 公共政策プログラム: 修士課程1名(主指導1名、修士取得)
- * Public Policy Program: 修士課程1名(主指導1名)
- * 安全保障・国際問題プログラム: 博士課程1名(副指導1名)
- * 政策プロフェSSIONALプログラム: 博士課程2名(主指導1名・副指導1名)

(3) その他

- * キャンディデート・セミナー 司会(全6回)

4. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 研究教育評議会政策情報研究センター運営調査会委員
- * 政策研究センター運営調査会委員
- * Young Leaders Program 委員会委員
- * 政策プロフェSSIONAL委員会
- * 公共政策プログラム委員会
- * One-year Master's Program of Public Policy Committee (MP1)
- * Two-year Master's Program of Public Policy Committee (MP2)
- * 図書館運営委員会委員

(2) その他

- * 公共政策プログラム入試 採点 2014年10月12日
- * Young Leaders Program インタビュー 2015年2月26日ポーランド人3名、3月3日パキスタン人5名。

5. 社会的貢献(A)

(1) 他大学・研究所等における活動

非常勤講師

- * 青山学院大学国際政治経済学部非常勤講師 講義「比較政治II」担当(全15回2014年

度前期)

- * 東京大学教養学部前期課程非常勤講師 講義「日本の政治」担当(全 13 回 2014 年度前期)
- (2) 財団法人等における活動(役員, 委員会)
 - * nippon.com(ニッポンドットコム)編集委員会委員
 - * 日本財団、グレートブリテン笹川財団、チャタムハウス共催「日英グローバルセミナー」企画委員会委員
- (3) 学会等における活動
 - * 2014 年度日本選挙学会研究大会 分科会 I(議会部会): 日本の国会政治の変化と連続、討論者、5 月 18 日、東京、早稲田大学。

6. 社会的貢献(B)

- (1) ジャーナリズムでの発言(活字メディア)
 - * 寄稿「私の 3 編 集団的自衛権の具体例」『読売新聞』2014 年 6 月 30 日。
 - * 寄稿「私の 3 編 消費税増税に向けた政策」『読売新聞』2014 年 9 月 29 日。
 - * コメント『朝日新聞』2014 年 10 月 11 日。
 - * コメント「野党 戦術に工夫の余地」『北海道新聞』2014 年 10 月 11 日。
 - * 寄稿「解散・総選挙の可能性: 消費税引き上げ「先送り」以外の理由?」『Yahoo!ニュース: 個人』2014 年 11 月 9 日。
 - * 寄稿「安保のあり方堂々と問え」『毎日新聞』2014 年 11 月 28 日。
 - * 寄稿「ビッグデータによる予測でも自民 300 議席」『Yahoo!ニュース: 個人』2014 年 12 月 5 日。
 - * 寄稿「弱体化避ける年内解散」『読売新聞』2014 年 12 月 29 日。
 - * インタビュー「今週の本棚・本と人: 『民主党を見つめ直す 元官房長官・藤村修回想録』インタビュー・構成 竹中治堅さん」『毎日新聞』2015 年 1 月 25 日。
 - * 寄稿「『ピケティ』労働所得格差こそ問題」『読売新聞』2015 年 3 月 30 日。
- (2) 講演会, 座談会, 会議出席
 - * 勉強会講師: BNP パリバ証券「安倍内閣の経済政策」2014 年 4 月 30 日、東京。
 - * 勉強会講師: 日本イスラエル商工会議所「政治の構造変化と安倍内閣」2014 年 5 月 28 日、東京。
 - * 討論会出席: 日英グローバルセミナー「民主主義への移行」2014 年 10 月 2 日、東京。
 - * 討論会出席: “Taiwan’s Domestic and External Policy Environments in 2015,” Brookings Institution. “Democratic Governance in Japan.” 2014 年 10 月 28 日、台湾台北。
 - * セミナー講師: 青山社中「選挙制度・国会」2014 年 11 月 6 日、東京。
 - * 勉強会講師: 四十雀の会「政治の構造変化と安倍内閣」2014 年 12 月 4 日、東京。
 - * セミナー講師: 青山社中「内閣制度・首相官邸」2014 年 12 月 11 日。
 - * 勉強会講師: Center for Asia leadership initiatives, “Politics Under Prime Minister Abe.” 2014 年 12 月 30 日、東京。
 - * 勉強会講師: BNP パリバ証券「政治の構造変化と第二次安倍内閣」2014 年 1 月 7 日、東京。
 - * セミナー講師: 青山社中「政策過程論」2015 年 1 月 8 日、東京。
 - * セミナー講師: 青山社中「政策過程ケーススタディ」2015 年 2 月 12 日、東京。
 - * 討論会出席: 青山社中「西村 康稔内閣副大臣との対談」2015 年 3 月 8 日、東京。